



2/26 (土) 日々の練習成果を披露！

小中学生の音楽に対する関心と音楽能力の向上、演奏や歌唱による交流を目的として「第16回浦添市小中学生音楽祭」が市てだこホール大ホールで開催されました。

個人部門では、1月に行われた公開オーディションにおいて選出された市内小中学生8人が独唱やピアノ、フルートの独奏を披露し、団体部門では、市内小中学校を代表した5校が、合唱や合奏で会場を魅了しました。

生徒たちの日々の練習成果が大舞台に響きわたり、会場に訪れた市民からは惜しみない拍手が送られました。



3/12 (土) 浦添の歴史・文化についてガイドしました！

昨年12月に開講した「うらおそい子ども歴史ガイド養成講座」の開講式が行われました。

今回は、市内の小中学生7人が浦添グスクや浦添ようどれ、組踊など全10回の講座を受講し、地域の歴史・文化について学びました。

開講式では、主催の「うらおそい歴史ガイド友の会」理事長から終了証が交付され、その後、子ども歴史ガイドが父兄や先生を対象に地域の文化財を案内しました。ガイドを務めた子ども達は、とても緊張していた様子で、説明中に友の会会員から訂正を受ける場面もありましたが、無事案内をすることができ、達成感にあふれた笑顔を見せていました。



2/24 (木) 市民憲章実践活動作文表彰式

毎年開催されている「浦添市民憲章実践活動作文コンクール」の上位入賞者表彰式が市役所で行われました。

【最優秀賞】

喜屋武采莉(前田小4年)
佐久田美鈴(前田小6年)
砂川大地(浦城小6年)
与那覇素弓(浦城小6年)
上原ちかの(港川小6年)
知花秀真(港川小6年)

【優秀賞】

浦添早紀(前田小6年)
石川百音(前田小6年)
具志堅萌子(前田小6年)
田場結圭(前田小6年)
宮城広志(港川小6年)
又吉恵利花(当山小6年)
高江洲志保(当山小6年)
小禄悠矢(浦城小6年)



2/28 (月) 「住んでよかった」と思える地域づくりを目指して

「平成22年度浦添まちづくりフォーラム」が市男女共同参画ハーモニーセンターで開催され、市民ら約130人が参加しました。

フォーラムでは、今年度で10回目を迎えた「浦添市まちづくりプラン賞」の助成金を活用して、地域づくりを実施してきた西原一区、二区自治会、港川自治会の事例発表があり、「地域の特性をいかした自主的な活動により、住民が地域を愛し自信が持てるようになった」など、取組の成果を報告しました。また、パネルディスカッションでは、テーマである「地域力を活かしたまちづくり」について活発な意見交換や質疑応答が行われました。



2/19 (土)・2/20 (日) サークル活動始めてみませんか？

中央公民館では古典芸能を始めダンス、外国語、パソコンなど、約140もの多種多様なサークルが活動していて、毎日笑顔と活気に満ちあふれています。その学習成果を発表する場として、浦添市教育の日関連事業「第25回中央公民館まつり」が開催され、作品展示や、舞台発表などにより、集まった1600人余りの来場者を楽しませました。

「絵手紙サークル」に通って4年になる比嘉初枝さん(69歳)は「絵を描くのは学生の時以来で、習い始めるまでは筆を握る機会は無かった。今は身近なものを絵に描いて、やめられないくらいとても楽しい」と、話していました。



2/19 (土) 認知症について学ぶ

浦添市医師会と本市との共催で、第13回市民公開講座「認知症との上手なつきあい方～老いも若きも考えよう～」が市てだこホール市民交流室で開催されました。

講座では城間清剛医師による基調講演やパネルディスカッションが行われ、来場者は認知症についての正しい理解や、接し方などを学びました。

また、2007年度から3年間、県内初となる本市の認知症地域支援事業について、市職員による講演があり、認知症の人を支えるまちづくりのための取組、市ホームページ内にある市内の医療機関などを網羅した「認知症地域資源マップ」の紹介がありました。



3/15 (火) 被災地支援のために

東北地方太平洋沖地震の被災地支援のため、市消防本部より高規格救急自動車1台とともに救急救命士3人の派遣を決め、市長へ出発前の挨拶を行いました。

今回の派遣は、全国的な消防応援制度である緊急消防援助隊によるもので、阪神・淡路大震災のあった平成7年に制定されてから、沖縄県への出動指示は初めてとなります。

県内11消防本部から56人が派遣され、浦添市は援助隊の中で救急部隊として活動する予定で3月17日に被災地へ向け出発しました。

被災に遭われた地域が早期に復興することを祈ります。